

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	メディアデザイン		
英文授業科目名			
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	兼子 正勝		
居室	西6-409		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kaneko@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
メディアデザインとは、グラフィックデザインやWebデザイン、さらにはメディアコンテンツに関わるシステムデザインまでを統合的にあらず用語で、本講義では、この広い意味でのメディアデザイン全体を見すえながら、視覚デザイン・システムデザインのまえにまず必要な、コンセプトとコンテンツに関するデザインの知識・技能を身につけることを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
メディアリテラシーA、メディアリテラシーB、メディアリテラシーC、メディア論

【教科書等】
資料を授業時に配布

【授業内容とその進め方】

授業は前半と後半に分かれ、おおまかに言って前半が理論、後半が実習である。

前半では、最初にメディアデザイン全体についての概論をしたあと、メディア理論とデザイン理論について、それぞれ数回ずつ講義する。

後半では、商品プロモーションを例にして、コンセプトデザインの実習と、コンテンツデザインのシミュレーションをおこない、最後に各自がコンテンツデザインの事例を「企画書」としてレポートに出してもらう。

おおまかな進め方は次の通り。

- 1) ガイダンス
- 2) メディアデザイン概論
- 3) デザイン理論1：デザイン概念の誕生
- 4) デザイン理論2：デザインの基礎
- 5) デザイン理論3：現代のデザイン
- 6) メディア理論1：マクルーハン以前
- 7) メディア理論2：マクルーハン
- 8) メディア理論3：現代のメディア理論
- 9) コンセプトデザイン実習1
- 10) コンセプトデザイン実習2
- 11) コンセプトデザイン実習3
- 12) コンセプトデザイン発表
- 13) コンテンツデザイン
- 14) 企画書
- 15) 予備

授業で取り上げることができる情報は少ないので、各自相当の授業外学習をしなければならない。とくに前半では理解のための復習が、後半では実習内容の予習（準備）が必要である。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

前半の講義部分では復習が必要である。

後半の実習部分では、課題作成に授業時にすべての作業が終わらない可能性が高いので、復習に相当する授業時間外学習が必要になる。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

コンセプトデザインはグループワークでおこない、グループごとに発表する。発表をすることが最低達成基準であり、発表内容とグループワークへの参加度によって詳細な評価をする。

コンテンツデザインは個人による企画書の提出を求める。企画書としてまとまったものを提出することが必要要件であり、それが、デザイン理論、メディア理論、コンセプトデザインの方法論等をどのように生かしているかによって、詳細な評価をおこなう。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜4限

不在の場合はメール等で連絡をとること

【学生へのメッセージ】

がんばってください

【その他】

この科目は、平成16年度以降の入学者を対象とする。平成15年度以前の入学者に対しては「メディア文化論」に相当する。

また19年度以後入学者に対しては、それ以前のカリキュラムにおける「メディア論」の内容を含むものとする。